

第 15 回下水文化研究発表会プログラム

日時：2019 年 11 月 30 日(土) 10:00~17:30

場所：新宿区 NPO 協働推進センター（新宿区高田馬場 4-36-12、アクセスは 3 ページ）

受付開始（会場 501） 9:30~

開会 10:00

事務局長 酒井 彰

開会挨拶 10:00

本会代表 稲場紀久雄

来賓挨拶

授与式

(1) バルトン感謝状 稲永丈夫氏

特別委員 谷口 尚宏

(2) 名誉会員証授与

本会代表 稲場紀久雄

受賞者挨拶

NPO 法人 20 周年記念シンポジウム (1) 11:00~12:30

(会場 501)

“今改めて下水文化を問うー下水文化の過去・現在・未来ー”

【要旨】本会は 33 年前、設立趣旨書に「下水文化は、水文化の基層をなす（略）今後下水文化の単純化が進めば、水文化の退廃化は免れぬ（略）。このため、（略）下水文化の調査研究を行う」と謳った。更に 20 年前、趣旨書を改訂し、「個人と下水の成熟した付き合い方を下水文化」と定義し、「新たな問題意識の下で、これらから市民と下水との付き合い方を創造していく」と誓った。NPO 法人 20 周年に当たり、本会の活動を振り返り、将来の方向性について議論する。

コーディネーター：谷口尚弘、パネリスト：稲場紀久雄、酒井彰、高橋邦夫、渡辺勝久

休憩 12:30~13:15

研究発表会 13:15~15:15

番号	氏名	所属	題目	時間
セッション I (会場 501) 水文化史 (座長:照井 仁)				
1	稲場 紀久雄	大阪経済大学 名誉教授	バルトン先生の水道水源調査とその背後にある考え	13:15~
2	熊谷 彰	バルトン研究会	コナン・ドイル文書再公開で明らかになったドイルとウィリアム・バートンの友人関係	13:45~
3	谷口 尚弘	NPO 法人日本下水文化研究会	「創世記」に見る水問題	14:15~

セッション II (会場 101) 水文化研究 (座長:中西正弘)				
1	山崎 達夫	京都府立大学文学部 研究員	平安遷都千百年祭の開催と公衆トイレの公営化	13:15~
2	松岡 隆文		黎明期の活性汚泥法の伝播	13:45~
3	清水 康生	日水コン	「水辺へGo!」の開発とその活用について	14:15~
4	佐藤 英雄	川と水辺を楽しむプロジェクト	「あっ この石 動く!」川で遊ぶ、学ぶ、憩う=“自然体験講座”	14:45~

セッションⅢ（会場 102） 海外水文化活動				（座長：高橋邦夫）
☆1	武田 繁雄	名古屋環未来研究所	カンボジアの中学校を拠点とした住民の生活衛生改善の試み	13:15～
2	山田 怜奈	京都大学大学院地球環境学	Bangladeshにおけるし尿分離型ドライトイレの利用状況から見る長期的受容可能性	13:45～
3	菊池 春歌	東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻	夫婦の衛生知識とジェンダーバランスが衛生的なトイレ導入に及ぼす影響～ Bangladesh農村部の事例～	14:15～
4	菊池 美智子	東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻	都市部貧困層コミュニティ住民における共同トイレ利用行動の関連因子の検討	14:45～

誌上発表			
1	大沼 俱夫	三島自然を守る会	霊峰富士山の地下川の世界複合遺産めぐり
2	古賀 輝彦	水道顧問技師会	井の頭池の再生
3	中野 忠男	羽生市ムジナモ保存会	埼玉県平野部の地下水揚水による環境影響

☆印はバルトン記念賞応募論文。今回、久保起下水文化賞応募論文はありませんでした。

以降(会場 501)

バルトン記念賞授与 15:30

事務局長 酒井 彰

NPO 法人 20 周年記念シンポジウム (2) 15:45~17:15

“健全な水循環の再生と上下水道の役割”	
<p>【要旨】本シンポジウムでは、流域水循環の現状において、不健全と言える状況とは何か、その原因、結果としてもたらされている弊害について明示する。それを踏まえ、流域社会と流域水循環の望ましい関係性構築に向けて、流域レベルでの水循環を再生していくうえでの、上下水道事業ならびに市民を含めた関係者の役割分担について、最近話題となっているいくつかの事例を通して議論する。</p> <p>コーディネーター：酒井彰、パネリスト：稲場紀久雄、田中宏明(京都大学大学院)、野村喜一(株式会社日水コン会長)、渡辺勝久</p>	

閉会挨拶 17:20

副代表 渡辺 勝久

閉会 17:30

事務局長 酒井 彰



住所: 〒169-0075 新宿区高田馬場 4-36-12
 高田馬場駅徒歩 15 分
 (JR 山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線)
 バス・小滝橋 徒歩 4 分
 (都営バス: 飯 64・上 69、関東バス: 宿 02・宿 08)
 TEL: 03-5386-1315